



Future
From
Fukushima.

ふくしまから
はじめよう。

地域の復興・再生と技術力向上をめざして

参加無料

福島県ハイテクプラザ

平成25年度 研究成果発表会

ハイテクプラザは、福島県の工業技術振興の拠点として、企業の皆様の技術の高度化を目指した各種事業を実施しております。

このたび、昨年度実施した研究開発や技術支援の成果を広くご紹介いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

平成25年 **8月2日** (金)
13:00~16:15

福島県ハイテクプラザ

平成25年 **7月26日** (金)
13:15~15:50

福島県ハイテクプラザ
福島技術支援センター

平成25年 **7月12日** (金)
13:10~16:10

福島県ハイテクプラザ
会津若松技術支援センター

平成25年 **7月19日** (金)
13:00~16:15

福島県ハイテクプラザ
いわき技術支援センター

開催プログラム

13:00 開会挨拶 福島県ハイテクプラザ所長 袖岡 賢

福島県ハイテクプラザ

8/2

13:05~	特別講演「医療機器関連産業でのものづくりと事業化手法について」 (公財) 医療機器センター 理事長 (一財) ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地 眞 氏 県では、復興・再生に向けて医療機器関連産業の集積に重点的に取り組んでいます。本講演では、今後一層の発展が期待される当該産業に中小企業がどのように参画し、事業化に結び付けていくのか、具体的な取り組み方法について講演します。	1階 多目的ホール
14:00~	研究成果発表 1階 多目的ホール	研究成果発表 3階 会議室
	医療機器関連 14:00~ めっきを用いた微細構造体作製技術とマイクロ流路デバイス用金型への応用 (生産・加工科 安齋弘樹) マイクロめっきを用いて、研究から量産まで対応可能なマイクロ流路デバイス用金型や、微小流路及び電気化学セルの開発を行いました。	環境 14:00~ 石炭灰の再生利用促進 (工業材料科 光井 啓) 火力発電所から排出される石炭灰を、ショットピーニング加工用のショット材として再生利用する研究を行いました。
	再生可能エネルギー関連 14:20~ 浅部地中熱利用システムの開発 (工業材料科 小柴佳子) 温度計測システムを備えた浅部地中熱利用ミニモデルを作製し、熱交換による地中温度への影響を調査しました。	情報通信／組み込み 14:15~ 電解加工廃液の再利用化技術の検討 (工業材料科 中山誠一) 電解加工廃液を再利用化するために、分離・回収方法の最適化に取り組みました。
	放射能対策 14:40~ リチウムイオン電池用高精度シャント抵抗器の超薄肉アウトサート成形技術・生産技術の確立 (生産・加工科 大内繁男) 電磁界シミュレーション等を用いた三次元形状の検討により、高精度なシャント抵抗器の開発に取り組みました。	14:30~ スマートフォンを活用した道路状況センシングとその局所的情報交換のための車車間通信の研究開発 (生産・加工科 濱尾和秀) 車に搭載したスマートフォンを用いて車車間通信を行うため、すれちがい通信の実現に向けた研究を行いました。
	14:45~ F P G Aを用いた制御システムの開発 (生産・加工科 高樋 昌) 制御システム開発の効率化、高機能化を図るために、FPGAを利用したSoC制御システムを開発し、産業機械に適用しました。	14:50~ 厚板鍛造および熱処理技術分野におけるシミュレーション(CAE)技術の利用 (工業材料科 工藤弘行) 材料科学的アプローチを特徴としたシミュレーション技術の確立による成形回数やリードタイム等の大幅削減に取り組みました。また、加工熱処理に対応できるCAEシステム案を検討しました。
15:30~	ポスターセッション&所内見学会	1階 テクノホールほか

13:15 開会挨拶 福島技術支援センター所長 三浦 文明

福島技術支援センター

7/26

13:25~	特別講演「福の鳥プロジェクト ~ものづくりから価値づくりへの挑戦~」 福の鳥プロジェクト 会長 ((株)第一印刷 代表取締役社長) 古川 幸治 氏 福の鳥プロジェクト プロデューサー((有)ネットワークス 取締役社長、Be Oneギャラリースプロデューサー) 横山 哲 氏 福島市を中心に活動している地域おこしプロジェクト「福の鳥プロジェクト」について、福島の地域文化に合わせた「和のプロデュース」、そして他では創り出すことができない「価値の創造」から、魅力的な商品の開発まで紹介します。	研修室
14:35~	研究成果発表	
	14:35~ 着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発 (繊維・材料科 東瀬 慎) 常時着用向けの防刃衣料ではソフトタイプが主流であるが突き刺し強度が十分に得られません。そこで、ハードタイプ並みの突き刺し強度と、軽量で良好な通気性という快適性を両立する防刃素材の開発を行いました。	
	14:50~ 低コストでリサイクルが可能な縫製品の開発 ((株)東和 佐藤恵一 氏) 繊維製品リサイクルのネックである手作業の分解作業を、水溶性糸を縫製糸に用いて熱水で分解することで低コスト化を図りました。水溶性糸を縫製に用いるための加工方法について検討した結果を紹介します。	
	15:05~ 県産果樹染料の抽出条件とその発色性 (繊維・材料科 伊藤 哲司) 県産果樹の剪定枝を利用した草木染めは、発色の再現性と果実からイメージされる発色との合致という2点が求められます。今回は、抽出条件から、その発色性との関連を調べました。	
15:20~	事例発表「錆の対策手法について」 製品、設備への錆対策について、特に有効なものをケーススタディとして報告します。	(会津若松技術支援センター産業工芸科 橋本政靖)
15:35~	事業紹介「県産品振興戦略課の地場産業支援施策について」 今年度より開始された2つの地場産業支援事業である「地場産業リーディングプロジェクト創出事業」及び「地場産業ものづくりのチカラ強化事業」について説明します。	(観光交流局県産品振興戦略課 根本 忠)

13:15～	特別講演 1 「会津漆をバイオリンに ～会津漆の未来と可能性について～」 <small>多目的ホール</small> 会津大学短期大学部 教授 井波 純 氏 バイオリンに会津漆を利用した事例の紹介をとおして、会津漆の未来と可能性について提案します。
13:40～	特別講演 2 「福島県の酒造技術 ～全国新酒鑑評会金賞受賞数 26 場 全国一達成までの軌跡～」 福島県酒造組合技術委員長 細井 信浩 氏 なぜ、福島県は新酒鑑評会で金賞が取れるのか、これまでの取り組みについて解説します。
14:05～	ミニ発表
14:05～	低塩で日持ちのよい塩麴の開発 (醸造・食品科 小野和広) 健康志向、高血圧の消費者に配慮した低塩塩麴の製造方法について報告します。
14:15～	県内酒造場で製麴された麴の酵素力価測定結果 (醸造・食品科 菊地伸広) 製麴技術向上と清酒品質向上を目的に、麴の力価測定を行った結果を紹介しします。
14:25～	若年齢層に提案できる漆器製品の開発 (産業工芸科 須藤靖典) 漆の新しい利用方法を提案するため、漆塗料を応用した新感覚のネイルチップの商品開発について紹介しします。
14:35～	県産材を用いたインテリア製品の開発 (産業工芸科 遠藤知里) 県産材の利用拡大のため、木材の表面を強化するカラフルコーティング技術を応用した、幼稚園施設向けインテリア製品を試作提案しします。
14:45～	ブルーベリーやナツハゼの加工利用と機能性 (福島県農業総合センター 関澤春仁) ナツハゼを鍋で加水し加熱する、簡易な果汁加工方法について紹介しします。
14:55～	米粉利用促進のための加工技術の開発 (福島県農業短期大学校 星絵吏子) 米粉利用促進のため、米の品種と米粉の加工特性及びふるい下米の米粉パンの利用について紹介しします。
15:10～	ポスターセッション
15:40～	所内見学会

13:05～	特別講演 「技術開発・不良解析に生かすSEMの利用法」 <small>研修室</small> (株)日立ハイテクノロジーズ 科学・医用システム設計開発本部 技師 塩野 正道 氏 いわき技術支援センターに新規に導入したSEM・EDXについて、基礎から操作テクニックまで説明しします。前処理や写真の撮影を始め、すぐに活用できる事例についても併せて紹介しします。
14:30～	事業報告 「工業製品の放射線量測定」 (機械・材料科長 大堀俊一) 平成23年度より開始した放射線測定事業で、工業製品関連の測定結果について報告しします。
14:45～	研究成果発表
14:45～	軽くて使い易い放射線遮蔽材料の開発 －放射線遮蔽製品の開発－ (機械・材料科 吉田正尚) タングステン微粒子固定による釣り糸の高比重化技術を応用し、放射線遮蔽製品を試作したものを紹介しします。
15:00～	－線量率による表面汚染測定と遮蔽の評価－ (機械・材料科 佐藤善久) 工業製品の放射性汚染測定や遮蔽材料の評価を線量率で行う方法を検討した結果を紹介しします。
15:15～	－陶器瓦破砕物を用いた遮蔽による空間線量率の低減－ (工業材料科 宇津木隆宏) 陶器瓦破砕物で住宅の周囲を覆うことによって空間線量を低減させる手法について検討した結果を紹介しします。
15:30～	小径・深穴部分のバリ取り技術の開発 (機械・材料科 緑川祐二) 小径で深穴部の交差穴に発生したバリを除去するために、エンド型ブラシを用いたバリ取り方法を紹介しします。
15:45～	ポスターセッションと設備 (SEM・EDX) のデモ

アクセス・お問合せ



福島技術支援センター
〒960-2154
福島市佐倉下字附ノ川1番地の3
TEL:024-593-1121 FAX:024-593-1125

交通案内
●福島駅西口からタクシー利用 約20分
バス利用 福島駅東口より7番乗り場(土湯・荒井行)乗車「第二日東入口」下車(約30分)、徒歩5分
●東北自動車道 福島西ICより約2km(約5分)

会津若松技術支援センター
〒965-0006
会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原88番1
TEL:0242-39-2100 FAX:0242-39-0335

交通案内
●会津若松駅からタクシー利用 約5分
バス利用 会津交通/バスターミナルから(居合・松長団地行)乗車「会津大学前」下車、徒歩5分
●磐越自動車道 会津若松ICより約3km(約5分)

福島県ハイテクプラザ
〒963-0215 郡山市待池台一丁目12番地
TEL:024-959-1736 FAX:024-959-1761

交通案内
●郡山駅からタクシー利用(約1.3km) 約25分
バス利用 郡山駅西口から(西部工業団地行)乗車「ハイテクプラザ」下車(約40分)、徒歩1分
●東北自動車道 郡山ICより約6km(約10分)

いわき技術支援センター
〒972-8312
いわき市常盤下船尾町杭出作23番地の32
TEL:0246-44-1475 FAX:0246-43-6958

交通案内
●いわき駅からタクシー利用(約1.1km) 約20分
湯本駅からタクシー利用(約3km) 約5分
バス利用 湯本駅から(小名浜・勿来行)乗車「関船大平」下車、徒歩約20分(約1.6km)
●常磐自動車道 湯本ICより約9km(約12分)

参加申込書

下記の必要事項にご記入の上、会場毎の申込先までFAXで送信いただくか、各項目を電子メールでご連絡ください。複数会場にお申込みの際は、いずれかの会場だけにご連絡ください。

参加会場 (✓を入れてください)		参加申込先	
<input type="checkbox"/>	福島県ハイテクプラザ	FAX	024-959-1761 E-mail hightech-kikaku@pref.fukushima.lg.jp
<input type="checkbox"/>	福島技術支援センター	FAX	024-593-1125 E-mail fukushima-seni@pref.fukushima.lg.jp
<input type="checkbox"/>	会津若松技術支援センター	FAX	0242-39-0335 E-mail aizu-kougei@pref.fukushima.lg.jp
<input type="checkbox"/>	いわき技術支援センター	FAX	0246-43-6958 E-mail iwaki-kizai@pref.fukushima.lg.jp

会社/団体名		所在地
TEL		FAX
役職	氏名	E-mail
役職	氏名	E-mail
役職	氏名	E-mail

質問事項 (講演者や発表者に対して、あらかじめ質問がございましたらご記入ください。)